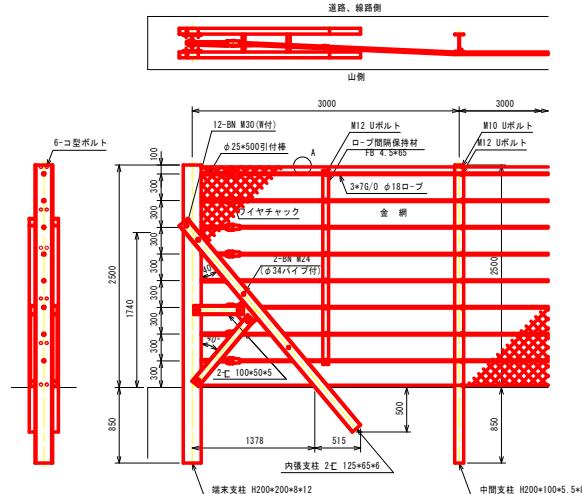


落石防護柵 参考図(1)

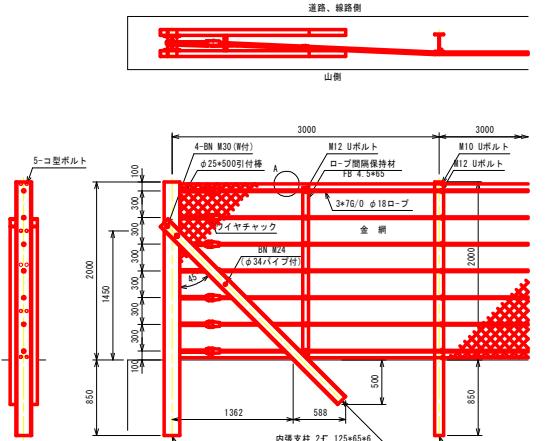
擁壁用ストーンガード H=2500 S=1:30



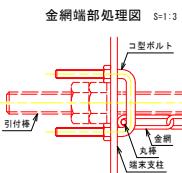
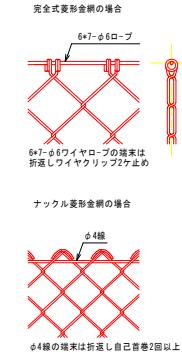
A部詳細図 S=1:5



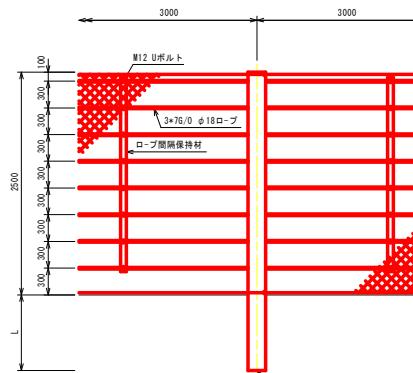
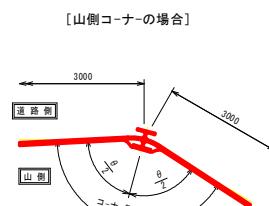
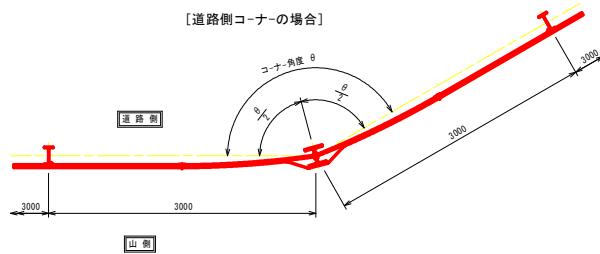
擁壁用ストーンガード H=2000 S=1:30



A部詳細図 S=1:5



貫通支柱 H2500 コーナー処理図 S=1:30



貫通支柱規格	埋込み長さ L	最小コーナー角度 θ
H175*175*7.5*11	850	159°
H200*200*8*12	850	150°

備考
1. 本図は落石対策復旧(平成29年12月)に基づき算出しております。
2. 結果については「施工要領」による。

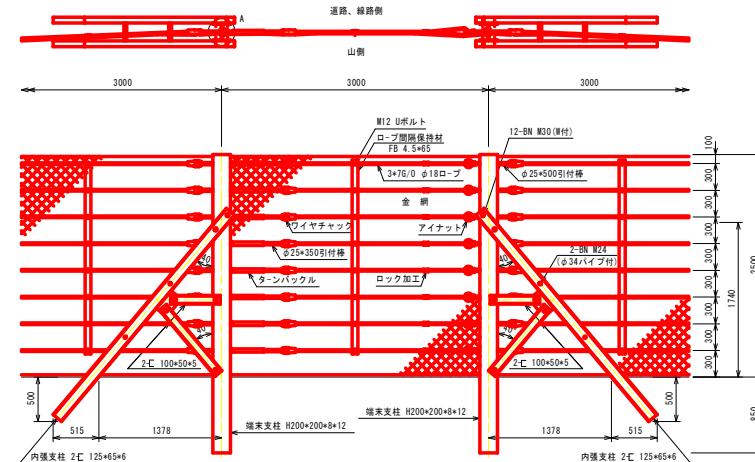
注記
-本図の最小コーナー角度は標高30mで算出しています。標高さが短かくなれば落石のロープ張力は大きくなり、最少コーナー角度は変わります。

参考図面

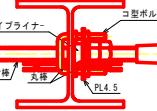
工事名	R7三土 錦治屋敷急傾斜 東・西庄 斜面対策工事	
路線名等	錦治屋敷急傾斜地崩壊危険区域	
工事箇所	三好郡みよし町西庄	
図面名	落石防護柵 参考図(1)	
縮尺	図示	図面番号 1/2
会社名	徳島県西部統合県民局土整課(三好)	

落石防護柵 参考図(2)

擁壁用ストーンガード(除石開閉口) H=2500 S=1:30

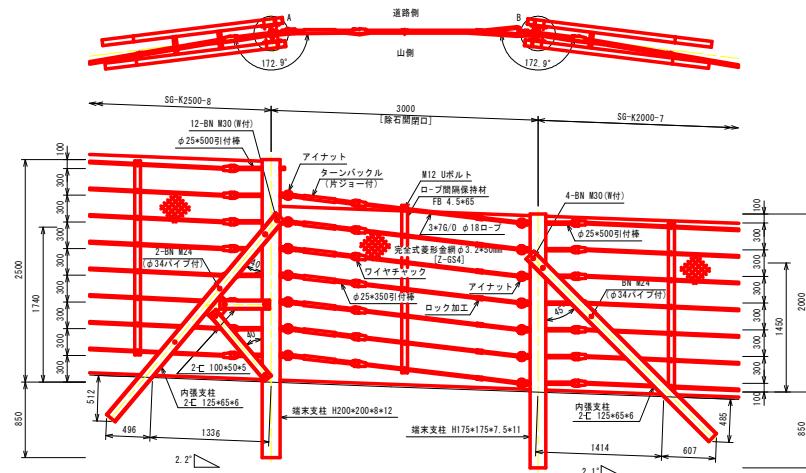


A部詳細図 S=1:5



備考
1. 外壁及び使用部品一部材は、標準
SG-K2500-2と同一又は
それに準ずるものとする。

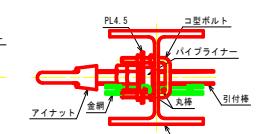
ストーンガード H2500~2000 接続部 S=1:30



A部取付図 S=1:5



B部取付図 S=1:5



設計条件--- 落石対策便覧(平成29年12月)に基づく。
但し、接続処理部は上記の強度を確保出来ません。

備考
1. 終点については「施工要領」による。
2. 配筋スパン寸法、勾配角度及びコーナー角度は現地実測に
依り決定とする。

参考図面

工事名	R7三土 錦治屋敷急傾斜 東・西庄 斜面対策工事	
路線名等	錦治屋敷急傾斜地崩壊危険区域	
工事箇所	三好郡東みよし町西庄	
図面名	落石防護柵 参考図(2)	
縮尺	図示	図面番号 2/2
会社名	徳島県西部統合県民局国土整備局(三好)	